

浦舟だより

令和2(2020)年 3月 25日

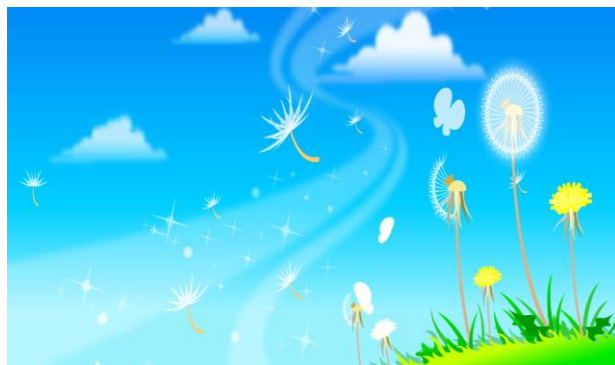
第11号 (第248号)

横浜市立浦舟特別支援学校
E-mail: ysurafun@edu.city.yokohama.jp

1年間ありがとうございました

校長 長岡 利保

暖冬だった日本ですが、九州では111年ぶりに最も遅い初雪が2月中旬に降り、その後大雪となりました。しかし、春は確実にやってきています。それが、空や花の色、風の匂いなどに表れてきているように感じられる今日この頃です。



1月の新聞コラムに、パラリンピックについて書かれていたので紹介します。『パラリンピックとは元来、パラプレジア（脊髄損傷者）の五輪という意味だった。1964年の東京大会で初めて使われた。〇〇選手の感想がある。〈外国選手のあの明るさはどこから来ているのか。身障者に対する社会一般の理解がそこにあるからなのである。〉やがて対象は知的障害者にも広がり、語義はパラレル（沿う・並行）と再定義された。半世紀余りを経て開催される東京大会を控え、「社会一般の理解」の深度を思わずにいられない。』とありました。みなさんはこの記事を読んで何を思われるでしょうか。あと半年となりましたパラリンピックですが、みなさんも知らない競技があると思います。これを機会に覚えていってはいかがでしょうか。

さて、この度、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための方針に基づき、臨時休業を実施しました。突然の休業によりご心配をおかけしましたが、本措置へのご理解・ご協力をいただき、重ねて感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染の早期終息を願ってやみません。

今年度も浦舟特別支援学校に温かなご支援、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。子どもたちも日々の学習や行事など学校生活を積み重ねながら、着実に一歩ずつ成長できた一年間だったと思います。これからも子どもたちの成長を見守りながら、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。今年度も本当にありがとうございました。

学習の様子 ～センター院内学級～

院内学級では、国語・算数などの個別学習だけでなく、他学年の仲間と合同で、総合的な学習の時間や音楽などの学習もあります。

音楽では、「365日の紙飛行機」や「旅立ちの日に」の歌唱、「茶色の小びん」や「エーデルワイス」の演奏に取り組んできました。ウクレレやギター、鉄琴、木琴など、さまざまな楽器にふれる機会があり、子どもたちは音楽の授業を楽しみにしています。「エーデルワイス」の演奏は全校朝会でも披露しました。



本物よりホンモノ！！ ～福浦院内学級～

図工や自立の時間に紙粘土を使って、お弁当、スイーツを作りました。好きなおかずを入れたり、キャラクターをモチーフにし、キャラ弁を作ってみたり、とてもおいしそうなお弁当やスイーツができました。細部までこだわりが見えて、本物顔負けのおいしそうなお作品です。



環境教室 ～訪問指導学級～

地域地活をテーマに、環境新聞を作りました。近隣の人工池へ取材に行くなどして、渾身の力作ができました。2月19日に行われた環境教室の発表では、最高学年として学習の集大成を披露しました。



3・4月の予定

2日(月) 全校朝会

3日(火)～24日(火)
感染症拡大防止のための臨時休業

25日(水) 修了式・離任式
(全学級 短縮授業)



26日(木)～4月3日(金)
学年末・春季休業



4月
6日(月) 始業式・入学式・着任式
(全学級 短縮授業)

おわび
臨時休業のため、3月号の発行が遅くなりました。